

平成26年度 第1回倉渕地域審議会における質疑一覧 [平成26年6月2日開催]

1 その他の質疑

内容区分	No	質 疑	回 答
防災無線について	1	<p>今年の4月から防災無線の運用が始まったが、火災時の災害無線としては利用できないと聞いた。</p> <p>今後、災害無線として活用することはできないか。</p> <p>また、現在8箇所を設置されているが、倉渕地域全域をカバーできていないと思うので増やす予定はあるか。</p>	<p>火災時の災害無線としても利用できるが、防災無線で発信する情報について地域で検討して欲しい。</p> <p>市民に情報を届ける方法については、色々と工夫しているので今後も研究していく。</p>
地域審議会の今後について	1	<p>合併時の協議書により、地域審議会の設置は平成28年3月31日までと説明を受けているが、2年後はどのような形で残すのか、それとも打ち切るのか伺いたい。</p>	<p>合併特例法で各地域、合併後10年という決まりで地域審議会を設置している。その後は地域審議会という形では残らないと思うが、地域の意見を聞く場について今後も研究していく。</p>
限界集落への対策について	1	<p>倉渕地域は、55歳以上の割合が50%を超える準限界集落である。何年か後には限界集落になることは目に見えているので、その対策はどのように考えているのか。</p>	<p>これまでも、小栗の里、高齢者向けのバスの補助、ふるさと住宅など、地域が限界集落にならないための施策を行ってきた。</p> <p>今後も色々な施策を工夫して組み合わせていきたい。</p>
倉渕ダムの建設について	1	<p>今年は雨量が少なく、旧市内では、烏川の水が少なく田植えができないという話も聞いている。将来の水不足に対して、倉渕ダムの建設が再開される予定はないか。</p>	<p>倉渕ダムの建設は、県の事業であり、中止に際しては十分な検証がされており再開の予定は聞いていない。</p> <p>なお、農業用の水利については、関係機関と連携して検討していきたい。</p>

内容区分	No	質 疑	回 答
鳥川河川の整備について	1	鳥川河川全域に言えることかもしれないが、水沼橋下流のヨシの枯れ草、アカシア、竹藪等が荒れ放題になっており鳥獣の巣となっている。そのため農産物の被害が多大にある。河川の整備をお願いしたい。	<p>河川(鳥川)は県の管理のため、県への要望と併せて協議していきたい。</p> <p>なお、鳥獣被害対策について、県及び市において重要課題として取り組んでおり、引き続き関係機関と連携して取り組んでいきたい。</p> <p>また、市の補助事業として、里山元気再生事業を行っているので農林建設課に相談して欲しい。</p>